

# 第1回 毒作用研究会プログラム

日 時 昭和50年2月10日(月) 午前9時30分より

会 場 国立教育会館  
第1会場 7階 大会議室  
第2会場 7階 中会議室  
第3会場 4階 第6研修室

## 午 前 の 部

9:30~10:50 設立総会(第一会場)

11:00~12:00 特別講演 座長 田辺恒義  
中毒学への展望と期待——生体障害作用の考え方——(第一会場)  
浦口健二(東農大)

休 憩 ( 昼 食 )

## 午 后 の 部

演 題

### 第 一 会 場

座 長 村 野 匡

- 13:00 1. 肝臓毒の作用機序の形態学的研究  
.....○小野江為則・金子愛子・伝法公鷹・小川勝洋(札幌医大・病理)
- 13:10 2. すゞめ蜂毒の神経筋接合部に対する作用  
.....◎堀真一郎◎川合述史・丹羽昭子(東京都・神経研)
- 13:20 3. 強心配糖体及びカルデノリドの $\text{Na}^+$ ,  $\text{K}^+$ 能動輸送ならびに $\text{Na}^+$ ,  $\text{K}^+$ -ATPase 阻害の作用機構  
.....松井英男(杏林大・医・生化)
- 13:30 4. パラクロルニトロベンゼンの赤血球解糖酵素およびジアホラーゼ活性に及ぼす影響  
.....○南正康・庄司俊雄・岡田晃(金沢大・医・公衛)
- 13:40 5. 肝細胞膜及びミクロゾームの諸酵素活性並びに微細構造に及ぼす $\text{CCl}_4$ の影響  
(in vitro).....○増田康輔・矢野一郎・角田滋雄・村野匡(和歌山医大・応医・研)
- 13:50 6. ラット赤血球の溶血機転について  
.....○民谷さち子・金津赫生(日本ロッシェ)
- 14:00 7. 妊娠マウスに投与したベンゼンの胎児におよぼす影響について  
.....○松本信雄・飯島純夫・勝沼晴雄(東大・医・公衛)

休 憩(10分間)

座 長 塚 田 裕 三

- 14:20 8. 突然変異原MNGGの催奇形性  
.....村上氏廣・○井上 稔(愛知・心障コロニー)
- 14:30 9. Methylazoxymethanol(MAM)のラット胎仔脳に及ぼす毒作用について  
.....○松谷天星丸・田丸政男・塚田裕三(名保衛大・医・総研,慶大・医・生理)
- 14:40 10. 胎仔骨格染色法の改良  
.....○野田有俊・塩崎裕通・宇高壺二(日本ロッシェ)
- 14:50 11. Ricinus communis toxin の細胞毒性発現機構について  
.....○岸江孝男・海部祿郎・大沢利昭(東大・薬害研)
- 15:00 12. 細菌性食中毒の瀉下機構.....寺田安一(三重大・医・薬理)
- 15:10 13. モルモット <sup>W</sup>ly<sub>W</sub>photoxin の細胞毒性発現機構について  
.....○小林芳郎・沢田純一・大沢利昭(東大・薬害研)
- 15:20 14. Mitochondria の呼吸障害からみた薬物毒性について  
.....○門間芳夫・齊藤秀哉・田辺恒義(北大・医・薬理)
- 15:30 15. 水銀の腎に及ぼす作用 1) イモリ single nephron の機能的変化  
.....○菊地英弥・鈴木令子・村越千秋・田所昌夫・酒井文徳(東大・医・薬理)

16:00-17:00

特別講座

G.L. Plaa. (モントリオール)

演

第 二 会 場

座 長 西 川 潤 八

- 13:00 16. メチル水銀の体内蓄積におよぼす日本脳炎ウイルス感染の影響  
.....○三浦悌二・中島美香子・松田良一(帝京大・医・衛生)
- 13:10 17. メチル水銀中毒に関する研究 第1報 無機水銀併用の影響について  
.....○増原泰三・中村康則(日歯・新潟・薬理)
- 13:20 18. 重金属の生物学的半減期.....土屋健三郎(慶大・医・衛生)
- 13:30 19. 有機水銀の体内分布 — 水俣病患者剖検例を通して —  
.....滝沢行雄(秋田大・医・公衛)
- 13:40 20. カドミウムの心臓に及ぼす効果  
.....○堀内睦子(日医・医・生理)・林 秀生(埼玉医・医・生理)
- 13:50 21. カドミウムの硬組織に対する有害作用の機序について  
.....○飯田正一・久田 洋・挽地幹夫(北大・歯・薬理)
- 14:00 22. カドミウム毒性に対するセシウムの作用  
.....岩田平太郎・○岡本 博・井上和美(阪大・薬・薬理)

休 憩(10分間)

座 長 土 屋 健 三 郎

- 14:20 23. リソゾーム酵素に対するカドミウムの影響について  
.....加美山茂利・○道岡 攻(秋田大・医・衛生)
- 14:30 24. Cdの蛙皮におけるNa能動輸送促進効果の機序  
.....林 秀生・高田真理・有田 彰(埼玉医・医・生理)
- 14:40 25. カドミウムの精巣破壊作用に関する遺伝要因の解析  
.....○遠藤 克・西川潤八(日大医・公衛)
- 14:50 26. 微量重金属の生体影響の指標として味覚変動等が役に立つか  
.....星島啓一郎(福島医大・衛生)

- 15:00 27. 生体反応としての自発行動の変化……………鈴木秀吉(福島医大・衛生)
- 15:10 28. 皮ふ局所刺激試験にみられる初期血管反応とその定量的判定法  
……………○竹内祐幸・宇高壺二(日本ロッシュ)
- 15:20 29. Phenothiazine 誘導体 Levomethiomeprazine の単回並びに反復投与によるラット  
生体反応の種々相……………○伊藤忠信・小関良宏・中屋重樹(岩手医大・薬理)
- 15:30 30. 急性毒性の観察を目的としたオペラント行動の利用  
……………田所作太郎・小川治克・樋口洋一郎・栗原久・奥泉清子・大橋京一(群大医・行動研)

### 第三会場

座長 粕谷 豊

- 13:00 31. 化学物質(特に Saponin) による腎糸球体硬化性病変の病理学的考察  
……………○神田実喜男・渡辺五郎・松崎 竜(昭和大・医・病理)
- 13:10 32. 3-アミノ-1,2,4-トリアゾール長期投与による甲状腺腫瘍の発生についての病  
理学的検討……………○津田洋幸・広瀬雅雄・吉村 卓・彦坂善元・高橋道人  
・伊東信行(名市大・医・病理)
- 13:20 33. アゾ化合物の代謝的活性化……………○高橋 惇・大森義仁(国衛試・薬理)
- 13:30 34. 実験的脂質蓄積症の超微形態学的観察  
— 薬剤惹起性脂質代謝異常症における細胞障害及びその修復過程について—  
……………○田代征夫・渡辺陽之輔(慶大・医・病理)
- 13:40 35. DDT の体内分布におよぼす絶食の効果  
……………○大宮彬男・田中礼子・中井健五(秋田大・医・薬理)
- 13:50 36. Trichothecene系マイコトキシンの中毒学的特性  
……………○上野芳夫・佐藤寅雄・石井賢二(理科大・薬)
- 14:00 37. 向神経性カビ毒 Fumitremorgen の毒性  
……………○久我哲郎・渡辺由雄・山崎幹夫・鈴木重期(千葉大・生物活研)

### 休憩(10分間)

座長 山野俊雄

- 14:20 38. Diclofenac の毒性の種差の発現機構  
……………加藤隆一・野口英世・土屋為弘(藤沢薬・中央研)
- 14:30 39. トルニトリルに関する実験的研究  
石津澄子・○鈴木明夫・際田弘志(東女医・衛生, 三菱化・研)
- 14:40 40. クロロキン眼障害の実験的研究  
……………粕谷 豊・○宮田広志・渡辺 稔(東大・薬害研)
- 14:50 41. PCBによる実験的ゴルフィリア……………三浦 創(熊大・医・衛生)
- 15:00 42. 有毒ガス曝露時における鼻呼吸と口呼吸の急性毒性の差異  
……………○中島克行・土屋 哲・中島 隆・原田賢治(群馬・衛研)
- 15:10 43. オキシキノリン誘導体による免疫応答  
……………○笠巻明子・古屋宏二・金光正次(札医大・衛生)
- 15:20 44. キノフォーム製剤の溶解性と消化管吸収  
……………○関川 彬・中野真汎・笠井美智子・金光正次(北大・薬, 札医・衛生)
- 15:30 45. 組織培養による非ステロイド系抗炎症薬の影響  
……………向出 惇・亀山 勉(名城大・薬・薬品作用)

休 憩

座 長 酒 井 文 徳

16 :00

Hepatotoxins—Past and Future—

17 :00

Gabriel L. Plaa. Ph.D (モントリオール大学・薬理 (不会場))

## 第 2 回 毒 作 用 研 究 会 案 内

第 2 回の毒作用研究会を下記のように開催致しますので多数御参加下さい。

本発表会は、同封の趣意書の方向にそって企画されたもので、従来各学会で行われてきた毒作用に関する基礎的、理論的研究を横にむすんで、我国におけるこの研究領域の研究者の広い情報交換の場の確立をめざしたものであります。

1. 日 時： 昭和 5 1 年 2 月 1 0 日 (火) 午前 9 時 3 0 分より
2. 会 場： 岐阜市六条 産業会館 (TEL 72-3921)  
岐阜市藪田 建設会館 (TEL 73-3343)
3. 演題申込： 1) 締切 昭和 5 0 年 1 1 月 1 5 日  
2) 演題申込書 (別添) と演説内容の区分のための 4 0 0 字以内の抄録

なお、講演には 3 会場を用意してありますが、演題の申し込みが多数の場合は、止むを得ず次回にまわさせて頂くことのあることを御了承下さい。

4. 発表形式 1) 講演時間は 1 0 分、討論 5 分の予定です。  
2) スライドはライカ判、映写機は各会場とも 1 台です。
5. 会 費 会場費、通信費として当日 1,5 0 0 円頂戴します。
6. 演題申込先 岐阜大学医学部公衆衛生学教室内 第 2 回毒作用研究会  
(〒500) 岐阜市司町 4 0  
電話 (0582)65-1241 内線 247 (松田)
7. 宿泊申込先 岐阜市神田町 2 - 2 商工会議所内  
日本交通公社 岐阜支店内 第 2 回毒作用研究会係 (担当 桜井)  
電話 (0582)62-3755・62-1691  
宿泊費は次の通りです。月日及びランクを指定して予約金 2,0 0 0 円とともに申込み下さい。  
A 7,0 0 0 円 一泊二食付 税込み  
B-1 6,0 0 0 円 一泊二食付 税込み B-2 5,0 0 0 円 一泊二食付 税込み  
C-1 3,3 0 0 円 シングル部屋代のみ 税込み C-2 5,6 0 0 円 ダブル部屋代のみ 税込み

なお本会入会希望者は下記に申し出下さい。

The Journal of Toxicological Sciences の投稿資格と雑誌の送付があります。

入会申込先 毒作用研究会庶務幹事 村野 匡  
(〒640) 和歌山市 9-9 和歌山医科大学内  
電話 (0734) 31-2151  
入会金 1,0 0 0 円 年会費 3,0 0 0 円

..... 切 ..... 取 ..... 線 .....

### 第 2 回 毒 作 用 研 究 会 演 題 申 込 用 紙

機 関 名	
英 文	
氏 <small>ふりがな</small> 名 ( 演者〇印 )	
英 文	
演 題	
英 文	
希望する演題区分	実験方法論、標的臓器、作用機序、吸収、排泄、分布、代謝、依存性、アレルギー、発癌、組織変化、天然物、農薬、重金属、その他( )